



みさき 議会だより



第101号 平成27(2015)年 10月号

主な内容

- 平成26年度一般会計決算審査特別委員会報告・・・p2
- 常任委員会審議状況・・・・・・・・・・・・・・・・p4
- 地方創生調査特別委員会調査報告・・・・・・・・p6
- 議員の一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・p7
- 町民登壇 グループ紹介・・・・・・・・・・・・p16

朝焼けのかじか橋

題字 本泉 野見里江さん
写真 横手 鳥羽欣恒さん

今後も、地域と観光を結びつける事業の継続を望む

地籍調

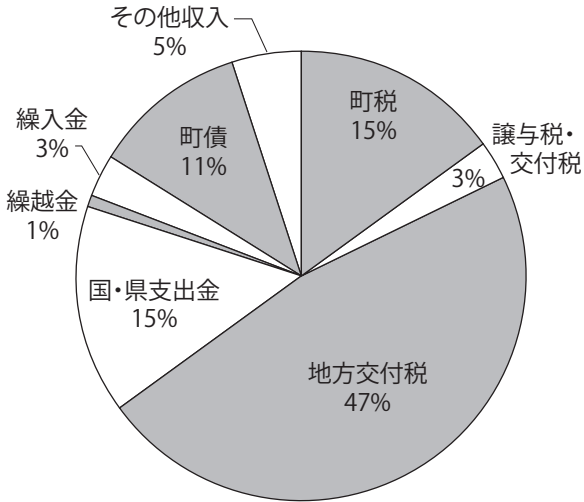


は平成26年
でバランスを
在の計画では

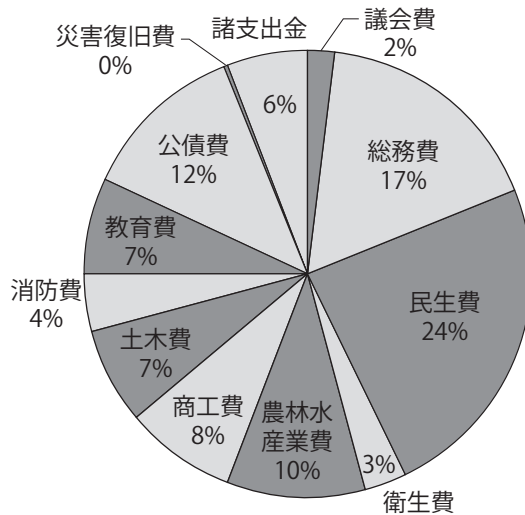
グリー



歳入決算



歳出決算



決算額の明細

歳入		(千円)
町税		697,514
譲与税・交付税		135,984
地方交付税		2,154,284
国・県支出金		710,001
繰越金		36,186
繰入金		118,356
町債		505,400
その他収入		236,699
計		4,594,424

歳出		(千円)
議会費		82,442
総務費		769,607
民生費		1,102,778
衛生費		157,161
農林水産業費		431,897
商工費		380,168
土木費		318,026
消防費		198,815
教育費		295,010
公債費		525,002
災害復旧費		6,933
諸支出金		259,342
計		4,527,181

三朝温泉開湯 850 年記念事業の成果は



事業実施した。地域連携誘客プランとして昨年度実施したが、今後も、地域と観光を結びつけるプランを考えていきたい。

広告宣伝事業、イベント事業、誘客受入対策の3つのソフトの考え方で事業を進め、26年度は、2,200万円の半分は広告宣伝事業、イベントは約690万円、誘客受入対策は450万円程度の予算で

鳥獣被害が拡大

鳥獣被害実施隊は定年に減っていない。対策フェンスの充実等アの重複が認められている。個体を減らす・侵入シュ・電気柵を導入し弱いと思うので、集落たい。実施隊は町の指議もあるがワナ従事者位の取り組みが大事な

査の現状と今後は



平地の現地調査が完了し、平成26年度から山の部分に展開しており36集落分が認証を受けている。進捗率は17.5%となっている。山に林道小鹿線（東小鹿・神倉）を、全町取りながら場所決定している。終了は現今後35年までの計画。

ふるさと納税特典である利用券 取扱店の拡大を図るべきではないか



町内全域で使えるよう広げていきたい。平成26年度は17旅館で利用できたが、今年の春から拡充し19旅館・飲食商店15店舗が参加し制度運用している。さらに広がりどこでも使えることを目指して拡充して行きたい。

ンサービスの体制改善と運営強化を図るべきではないか



平成26年度の受託状況は、水稻で18.7ha、その他約40haの作業受託となっている。27年度は米価、高齢化の問題もあり、約2ha増加している。水田の活用に関しては、グリーンサービス・担い手・集落を機能させることが大切な使命と考えている。県に認定されたプランの中でも、「三朝スタイルの担い手づくり」として、グリーンサービスの強化と担い手農家支援を打ち出している。グリーンサービスの強化は受託機能拡大のほか、中山間交付金・経理のサポート等の案もあり、これらを考えて行きたい。また、スタッフ等の強化も必要となる。後継者育成では指導が課題となっており、耕種部分での取り組みが可能と考えている。

している。今後の対策は

着しているが、被害状況はいつこうについては、県・国の事業を導入し図っているが、県と国の事業でエリくなり、制度としてダウンしたと思っ侵入を防ぐということについて、考を防ぐことについては、ワイヤーメッているが、集落単位での取り組みがをキーワードにしながら対策を考え示で活動されるので、猟友会との協へ広げることも協議したい。集落単ので、活動を強化するようにしたい。

その他の審査項目

- ・多目的駐車場の利用拡大
- ・三徳山世界遺産登録推進の今後の方向性
- ・介護保険料の軽減策
- ・各会計の未収金の対策
- ・ブランナールみささの今後の方向性

一般会計決算審査特別委員会とは

「決算」が議会に提出される9月定例会において、その認定審査のために設置される委員会です。本町議会では、委員5名で構成されています。

常任委員会で 慎重審議

委員会における主な質疑

◎総務教育常任委員会

(所管) 総務課、福祉課、子育て健康課、会計課、財務課、危機管理課、教育委員会

◎産業民生常任委員会

(所管) 企画観光課、農林課、農業委員会、建設水道課、町民税務課、プランナール

産業民生常任委員会

適正な課税へ

— 家屋全棟調査進む

企画観光課

ふるさと応援寄附金

特別経費 1351万2800円

(委員) 現在、特典は旅館利用券のみの対応であるが、新たに特典を拡げる事はないのか。

(回答) 町の特典の考え方としては、お越しいただき利用券を使って頂く仕組みが基本です。尚、今年度から旅館以外の商店でも利用可能な券として拡大を図ったところ です。

建設水道課

簡易水道検査業務(保健事業団) 798万1416円

(委員) 水質検査業務で36施設を点検・チェックされるが、

各施設年何回点検しているのか。

(回答) 湧き水部分と水道水蛇口の検査で、51項目に該当する菌の検査です。回数は2ヶ月毎に1回の部分と、毎回の部分があります。

農林課

三朝米販売対策ブランド化支援事業 9万3932円

(委員) 色々、補助金を出したりしているが、鳥取県産の「きぬむすめ」が売れ残っていると言う話を聞かすが、どうか。

(回答) 県全体の状況は把握していないが、三朝産については、追い風もあり、JAがしっかり貼り付けがされて、販売が進んでいると思っています。

町民税務課

家屋全棟調査業務 703万3431円

(委員) 23年～25年度に家屋調査を実施されたが、何で今頃になって、以前からある建物等もあるが、指導は、見落としか。

(回答) 建築確認等必要のない簡易な建物は把握できず、漏れ

が沢山ありました。それを3年間で調査し、26年度から評価をし、税に反映させるようにしています。今年度も実施しています。

財務課

国民宿舎事業会計

2億6298万円9059円

(委員) 決算が落ち込んでいるが、数字は従業員に知らせてあるのか？

(回答) 従業員には説明しております。5月休館日に午後時間をとって、決算見込み等の説明、以前指摘のあった、踏み込んだ調査が必要ではないかということもあり、私を含め何か欠けていないか協議しました。

農業委員会

農業委員会法改正

(委員) どのような方向性で進んでいるのか。

(回答) 公選制の廃止、委員の過半は認定農業者、農地利用最適化推進委員を新設し、農業委員会が選出。以上3つがポイントです。



収穫を待つ三朝米

総務教育常任委員会

病児保育 スタッフの配置や
看護師の配置等が課題！

総務課

個人番号制度

- (委員) 番号制度はいつから始まるか。また、セキュリティーは。
- (回答) 10月5日に制度開始、10月中旬から11月上旬に通知カードが皆さんのお手元に届いて、平成28年1月1日からその通知カードと申請に伴って番号を取得するものです。セキュリティーについては、当然、厳重に管理しないとダメと捉えています。

危機管理課

防犯カメラ

- (委員) 町内に公的に設置されているもの、私的に設置されているものはどれくらいあるか？
- (回答) 倉吉地区防犯協議会の補助を受けて設置したもので場所的には温泉街に3基設置しています。いろいろな事件事故がある中で、必要があれば制度化していかないとダメなと思っています。

小型ポンプ 1661万2560円

- (委員) 小型ポンプ等の下取りはどうしているのか？
- (回答) 動かなくなった物は廃棄処分しています。

避難指示

- (委員) 避難指示等では避難者が



野球場のトイレ

食糧等とは自分で持ってくるのか？

- (回答) 避難準備情報等では基本的に避難される方が持参することになっています。指示・勧告になってくると避難所にある程度準備しますが、ある程度の身の回りのものは持ってくるようにお願いしています。

子育て健康課

子育て支援

- (委員) 子育て支援について、他の市町と比べて先進地だという話だが、よそと比べて何がどれだけ良いのか比較できるものはないか。
- (回答) 子育て支援のハンドブックを作成しお配りすること。また現在、検討段階にあるポータルサイトを構築する予定としている。

健康教育

- (委員) 健康教育事業について、病人を作らないという意味で推進すべき取り組みだが、成果は感じておられるか。
- (回答) ノルディックウォークに限って申し上げますと、ご自身でポールを購入し、ウォーキングされている住民の方を多く見かける。健康教育の中で

は、特に特定保健指導として、メタボ予防、慢性腎臓病の予防等、個別の支援を行っており、透析患者の増加抑止という観点からは一定の成果があるといえる。

病児保育 18万1347円

- (委員) みささこども園建設時に事業を盛り込む予定で設計をされたと聞いている。事業実施の状況はどうか。
- (回答) スタッフの配置や看護師の配置等が課題となっている。

社会教育課

野球場のトイレ

- (委員) 野球場トイレの男女区分を早急に
- (回答) 使用していない更衣室を利用するなど、男女共用トイレの解消を来年度実施に向けて検討する予定である。

陣所の補助金 50万円

- (委員) 増額してほしいとの話を聞くが。
- (回答) 陣所の補助金制度は5年目となり、今年検証する年に当たる。保存会との協議の場を10、11月に持つようにしており、その結果によって制度の見直しを図る予定である。

地方創生調査特別委員会 調査報告

平成27年3月20日の本会議で、まち・ひと・しごと創生法に係る地方版総合戦略の策定について調査研究を行う特別委員会（6人で構成）を設置し、委員長に吉田道明議員、副委員長に中信貴美代議員を互選しました。

4月から8月に5回の委員会を開催、7月に新潟県阿賀野市へ視察を行い、8月7日に報告書を議長に提出しました。

三朝町の新しい 魅力発掘へ！

調査の総括

増加する自由旅行

従来の国内旅行は、大規模マーケットを背景に持つ都市部の旅行者が、旅先である地域から宿泊（ホテル、旅館）や飲食、土産物、見学施設といった素材を生かし安価に仕入れ、それらを組み込んだパッケージツアーを広く販売してきた。しかし近年は、それらパッケージツアーを購入する人びとは減少し、インターネットで飛行機や宿を直接予約したり、団体ではなく、個人や小グループで旅をする自由旅行のスタイルが増えてきている。

私たちの三朝温泉においても滞在型、湯治客の増加にターゲットを絞るのも重要な施策だと思われる。

埋もれている資源を発掘

こうした顧客ニーズにあわせていくためには、三朝町内に埋もれている資源（自然、文化、歴史、伝統、味覚等）を発掘して観光資源化し、それらを編集加工してサービスをつくりあげていくことが必要不可欠である。

多種多様な人で協働組織を

そのためには、町内の一次産業、二次産業の事業者をはじめ、観光、旅館等の団体、三朝町に精通した多種多様な人などで協働組織体（DMOなど）を組織し、異業種間の連携を通して三朝町の魅力を活かした新たなサービスを生み出し、地元医療機関又農産物の地産地消を活かし、モニターツアー等を行い、それを採算のとれるかたちで事業化するべきである。

情報発信は

また、セルフガイドアプリや、スマートホン等を利用し、従来の又、新たな観光施設（サービス）などの、さまざまなすべての情報を国内外、どこでも、だれでもわかるように、発信する事は極めて重要である。

そして、町内の農林業生産者にとってもやりがいのある活力ある町、又、全町民ひとりひとりが総力をあげて取り組み、町外からの定住者にとって住んでみたい魅力のある町に変えていくべきである。



新潟県阿賀野市を視察

【具体案】

1. 三朝町全域で新しい観光ルートの開発（一日コース、二日コース等）
ノルデックウオーク、サイクリング、農業体験、山登り、川、海、民泊、等
2. 三朝産での食材でおもてなし（統一した三朝米の提供等含む）
3. 地元医療機関と提携した湯治
4. 温泉を利用した（ホルミシス効果等）リハビリ、スポーツ選手等の療養
5. 高齢者のコンパクトな医療、住居拠点（三朝版CCRC等）
6. 三朝米のブランド化～第三セクターでの販売
7. 町外からの新規就農者（農林業）へのさらなる支援、事業化への指導
六次産業も視野に入れる（現町民も含む）
8. 企業と提携しての薬草栽培
9. 実際に見ている風景にデジタル情報を重ねて表示するAR技術を活用し、またすべての情報を、国内外、いつでも、だれでもわかるように発信する

委員長 吉田 道明
副委員長 中信貴美代
委員 牧田 武文
平井 満博
石田 恭二
福田 茂樹

一般質問

三朝町の明日に期待
 一般質問とは、年4回の定例会（3月、6月、9月、12月）において、各議員から町政について、町長、教育長等に対してその所感や方針を問い、その姿勢をただしていくもの。
 議員一人の持ち時間は20分、事前に通告を出し町長らが答弁し、時間内で関連した質問をしていく。

定住対策

問 大学等卒業後、町内に定住すれば奨学金の返済を町が肩代わりすべきでは。

答 先進事例を参考に雇用対策等も含め総合的な視点で研究していく。



吉田道明議員

○奨学金の肩代わりを

吉田

大学、専門学校等卒業後、町内に定住すれば奨学金の返済を三朝町が肩代わりするべきではないか。

町長

先進事例も参考に、雇用対策等も含め総合的な視点で効果的な施策の立案に向け、どのように支援していくか研究していく。

学業のために町外に出られたとしても、その後ふるさとに戻りたいと強く思って頂ける町づくりに向けていかなければいけない。

○全国にPRを

吉田

鳥取県の場合は、業種が限られている。もしやるなら業

種に限りなく、奨学金の卒業生全員に支援しないとけない。本当に三朝町に住めば助かると思ってもらわないといけないのでは。

そして誰でもわかるようにインターネット等で情報発信しなければいけないのではないか。

町長

最初少しでスタートを切って、それからペースを上げていけばというようなことでなく、しっかりした支援体制でスタートを切っていきたいと思う。情報発信もしっかりやっていく。

吉田

山陰道が完成すれば東部も通勤圏内になってくると思う。今一人でも多くの若者が三朝町に住んでみたいと思う町にして行くことが重要な、また早急にすべき施策だと思う。



卒業後の定住は…（看護大学）

地方創生に向け

問 ムラづくり推進交付金の制度をつくっては

答 キラリと光る町づくり支援交付金の活用を

○まちづくりに住民が参加

平井

地方創生に向け、三朝町まち・ひと・しごと創生総合戦略の骨子（案）が公表された。人口減少の対応、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確保を基本的な考え方として取り組んでいる。

まちづくり、村づくりという言葉がよく言われているが、誰がまちづくり、村づくりの主体になるかが問題だ。お金を使ってまちづくりを進めるよりも、まちづくりに住民が参加することは極めて有意義であると考えている。

個性的なまちづくりに取り組むために、ムラづくり推進交付金制度を創設してはどうか。

○スリムで持続可能なまちづくり

町長

地域の活性化には町民の自発的、主体的な取り組みが極めて重要である。本町においても、平成18年に地域の総合力を高め自立を促進する条例を制定し、地域協議会を中心として町民主体のまちづくりを進めてきた。

昨年度、第2次三朝町の自立に向けた変革のための行動計画を策定したが、その理念として、行政しかできないもの、行政が担うべきもの、民間の地域住民等が行うことが適切なものなどの役割分担を考慮しながら、町民との協働によるスリムで持続可能なまちづくりを進めることを掲げている。



平井満博議員

キラリと光る町づくり支援交付金は、「心豊かで“キラリ”と光る町」を実現するために地域づくりに取り組む住民・団体等が、地域の自主・自立の機運を盛り上げ、地域の活性化を促進するために行う取り組みを支援する目的で交付するもの。集落内においてアイデアを出し合っていたいただき、新たな事業などに取組まれる場合に、キラリと光る町づくり交付金制度をご活用いただきたい。

十分な管理がなされていない実態がある。また、民有林においても、森林所有者の高齢化や不在化が進み、町でもその実態を詳細に把握できていない。

森林の公有化は、森林情報を把握したうえで、町内の水源や環境とのかかわりなど、状況を注視しながら必要性を検討してみたい。

若杉山の公有化に向けては難しさを感じている。森林に親しむエリアとして町民の森の旗揚げすることは大変意義深い。関係者とプランを温めてみたい。

町民の森を

問 森林の公有化による保全を

答 町民の森の旗揚げ意義深い

○適正な維持管理を

平井

森林は木材を供給するだけでなく、山地災害の防止や水資源のかん養、環境保全等多くの機能を持っており、適正に維持管理することは当然であるが、我が町は我が町として早急に取り組まなければならないのは、水源地域周辺の森林を公有化し管理を行なうことである。

提案であるが、鳥取県の百

名山でもある若杉山を公有化し、水資源のかん養と町民が森に親しむ町民の森として保全し、活用することについて、町長はどう考えるか。

○水源や環境を注視

町長

三朝町の森林整備は、国の政策に基づき推進してきており、町行造林などの分取造林の取り組みが広がり、現在伐期を迎えているが、施業にコストがかかるなどの理由で

三朝米

問 観光を利用したブランド化を目指しては

答 必要な条件整備を、具体化出来るよう努力したい

○一括保存、品質管理を目指して

石田

国立公園指定・日本遺産登録と、観光地として進んでいる中で、お客様に町内の農産物を提供し、品質を認識していただき三朝米ブランド化推進の糧にしてはどうか。町内産の米を一括保存・品質管理をして、各旅館・飲食店に供給してはどうか。統一された米を、年間30万人以上のお客様に食してもらい、三朝米を認知してもらうことがブランド化への近道だと思う。観光と農業の一体化により事業が軌道に乗れば、ブランド米としての評価・価格向上と他の農産物にも反映し、過疎・後継者対策にも有効となり、農業を目指す人達の定住化、やりがいのある活力ある町になって行くようになると思う。

町長

三朝米の振興については、平成27年度から5年間の予定で、鳥取県が認定する「がんばる地域プラン事業」での取り組みを始めている。観光を利用した三朝米のブランド化は、三朝ファン獲得プロジェクトを立ち上げ、柱の一つとして、年間30数万人が宿泊する三朝温泉の発信力を活用し、食味や品質を伝え、全国に発信するもの。一括保存・品質管理をして提供する取り組みの実現は、生産者と温泉旅館や飲食店がプロジェクトに参加

し、お互いの立場を理解しながら前に進む必要がある。三朝米の有効活用とブランド化、三朝温泉の魅力アップを図るため、生産者と観光・商工関係者が主体的に連携する中で、町も一緒になってその推進役を務め、必要な条件整備については、具体化出来るように努力していきたい。

○町内外の雰囲気は

石田

国立公園指定・日本遺産登録された中で、町内外の雰囲気をどう感じておられるか。

町長

町の中をお客様が歩いて下さっているなど思っている。しかし一方で、お客様が感動を持って帰られるものを提供しているかどうか、十分満足しておられるのかの反省もしている。

○提供出来る観光客を活用

石田

他の地域では、提供・宣伝する場を求めて町外・県外等に向く中、三朝温泉の観光客を有効活用しないと。

町長

いかにして売るかという、そういう事をもっと戦略的に努力していかないといけないと思う。



石田恭二議員

○PRは今がチャンス

石田

日本遺産登録など観光客が増え、県内産「きぬむすめ」の品質の安定性が確立されていない状況で、今、三朝の米が美味しい事をPRすべき時期では。

町長

鳥取県が八頭郡から岩美郡、そして日野郡に至るまで、長い年月をかけて食味ランキングに挑戦をし続けて、特Aが取れなかった中、三朝町の米が参考出品を加えると4年連続特Aをとった。これは事実でありますから、これをもっと我々は声高々と話していく事が大事かと思っています。そうした事をしていきながら、作って頂いておる皆様に感謝をして、しっかり差別化して高く売る事が出来る努力をしていかねばいけないと思っています。

小学校統合

問 学校統合準備委員会の意見(新築の小学校建設)を尊重するか。

答 できる限り委員会の御意見を重んじて、新小学校の施設整備と位置について方針を決定したい。

○今後のスケジュールは

清水

今後、教育委員会の意見集約、そして総合教育会議での意見集約と続くが、それぞれのスケジュールは？

教育長

意見集約をする教育委員会を9月中旬に開催し、その会議での結論を踏まえた総合教育会議をできる限り早く開催する予定。

○新小学校の位置の候補は

清水

学校の位置の問題であります。統合準備委員会において、どのような場所の候補があったのか。

教育長

西小学校の敷地内に建てるのがよいという意見が多くあった。そのほか中学校の敷地内、野球場とテニス場のある場所、陸上競技場のほか、中学校の近くの農地を取得して建設するなどの意見もあった。

○通学方法は

清水

保護者の意見の大半は、金銭的な負担なく小学校に通わせていただきたいということであろうかと思う。対象児童全員に定期券を配付するなどの対策が必要かと思うがどうか。

教育長

保護者代表の委員の御意見もお聞きしながら、できる限り金銭的な負担がないような方法を検討していかねばならないと考えている。

○廃校になった校舎の活用は

清水

校舎の教室を町が予算をつけて起業支援をやり、そこで会社を大きくしていただくことができないかと考えているがどうか。

教育長

地域協議会の会長を初めとする関係者の方々の意見や要望をお伺いしながら、三朝町の振興に最も効果的な活用方法を考えたい。

○統合の時期にこだわるのか

清水

校舎を大規模改修した場合と新築の場合、大きくスケジュール的なものも変更になると思う。平成30年開校にこだわるか。

教育長

町長と総合教育会議の中で定めた大綱の中にも平成30年ということを出しているの、その年にはこだわってまいりたい。

○小中一貫校については

清水

小中一貫校について、教育長の見解はどのように思っているか。

教育長

来年、再来年から小中一貫に取り組んでいくということではないが、近い将来の課題として小中一貫校という考え方については、検討して取り組んでいかなければならない問題だと思



清水成真議員

.....
ている。

○通学費の負担は

清水

遠くから通う児童は、最低でも2万8,800円保護者の負担がかかることについては。

教育長

小学校統合の時期とあわせて保護者負担のあり方については検討していかなくてはならない。

○現在の通学費補助規定に問題点は

清水

近くに住んでいる児童と、遠くに住んでいるために保護者負担がかかる児童がいることをどう考えるか。

町長

現在、学校近くに住んでいる児童については通学費の補助がないわけで、遠くに住んでいるために負担がある児童との格差を考えると、それが本当に正しいかどうかというのはちょっと疑問も残るところがある。

エゴマ栽培

問 島根県川本町のようにエゴマを栽培してはどうか。

答 川本町へ連絡をとって資料も送ってもらった。本当にいい川本町のお話を伺っておりますので、検討を深めたい。

清水

川本町はエゴマ栽培で成功しているが。

町長

いい話であるので検討を深めたい。

子育て問題

問 園児、児童生徒の健全育成は十分に図られているか

答 子どもの権利を守り、発達を守る保育を

○対応策は 池田

教育現場に於いて児童生徒の安全・安心は十分に確保されているか。また、心と体の異変への対応策はどのようになっているか。



「子曰く…」 論語 (賀茂保育園)

○信頼関係 教育長

小、中学校では連絡帳を持たせ、毎日、担任がチェックし、児童生徒との関係づくりが深まるよう努め、もし、気になる内容等があった場合、学年主任や校長、教頭等管理職に報告、場合によっては職員会議等で協議する体制を整えている。大切なのは、子どもたちがどんな悩みでも相談できるような信頼関係を構築することだと考えている。



「カニはどこだ」 里山保育 (竹田保育園)

○虐待? 池田

町内の保育園で虐待とおぼしき事象があったと聞かす。

○不適切な行為 町長

数年前、保育従事者による不

適切な行為があった。現在はそういった行為はないということである。よかれと思って行う保育が本当に子どもの権利を守り、発達を守る保育につながるといった視点での振り返りは大変



ノルディックウォーク (みさきこども園)



池田雅俊議員

重要であると思う。他から見ると非常に厳しい指導に見えることもあるが園児との間は近いものになっていると信じている。

子育て問題

問 保育園、小・中学校における給食事業に関して

答 実態に合わせた対応
食に関する実践力を身につける

○アレルギー対応 池田

近年問題になっている食物アレルギーを持つと診断されている子どもたちに対し、食育という観点も含め十分な対応がなされているか。

○柔軟に 町長

保育園の献立作成には、各園調理員3名、町管理栄養士1名、町内3園の園長は交代で1名の計5名で、栄養価や地産地消を考慮しながら決定している。生きる力を育む一翼を担う保育園での給食は豊かでおいしく、そ



今日も元気だ、給食がうまい (東小)

して事故を防ぐことの両面を念頭に置き、食物アレルギーの実態に合わせ柔軟な対応ができないか検討したい。

○高い教育効果 教育長

学校給食は、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた豊かな食事を提供することにより健康の増進を図り、特に給食の時間では準備から後片付けを通して望ましい食生活、食習慣と食に関する実践力を身につかせ、高い教育効果が期待できると考えている。



厳格管理アレルギー対応食 (賀茂保育園)

児童生徒

問 三朝の児童生徒の安心・安全方策は大丈夫か

答 家庭・学校・地域の連携強化で子どもを守る

○寝屋川事件後の三朝町の対応は

山口

寝屋川市の中学生殺人事件は社会に大きな衝撃を与えたが、この事件を受けて教育委員会ではどのような対応をされたか。

教育長

校長会に対して、家庭・地域の連携による見守り体制の再確認を要請した。

○子どもと地域がふれ合う機会の創出が必要だ

山口

大人が自分の集落の子どもの顔を良く知らないという現状があり、地域に人とふれ合う機会を作ることが必要だ。

○ふれ合う機会の創出を検討したい

教育長

地域や老人クラブなどと相談し、ふれ合う機会を検討したい。

○いじめ等が懸念される小中学生の携帯・スマホの所持状況は

山口

いじめ等につながる恐れのある携帯・スマホの町内小中学校での保有状況は。



○小学6年で30%、中学3年で70%が携帯・スマホを所持

教育長

町教育研究会の調査によると、小学6年生で30%、中学3年生で70%が携帯・スマホを所持しているとの結果が出ている。

○地域・家庭・学校が緊密な連携で見守りを

山口

子どもを守るためには地域・家庭・学校・行政の情報共有と連携が重要だ。

○子どもの見守りは地域の子どもは地域で育てる運動の推進で

教育長

関係機関、関係者との連携で地域の見守り活動を強化し、地域の子どもは地域で育てる運動を推進していく。



山口 博議員

公共施設

問 公共施設管理計画と利用者にやさしい公共施設へ

答 年次計画でやさしい施設を目指す

○公共施設管理計画の策定状況は

山口

公民館等公共施設の適正な管理を行うための管理計画の策定をすることとしているが進捗状況は。

○管理計画は今年度中に策定を

町長

施設の現状把握の調査を完了し、調査結果に基づく基本方針の取りまとめを行っている。今年度中の策定を目指している。

○管理計画に基づく公民館等の早急な耐震診断・耐震改修を

山口

多くの町民が利用する公民館等は、町民の安心安全のためにも管理計画による早急な耐震診断改修が必要だ。

町長

公民館等は避難所に指定されていることから計画的に改修を行っていく。

山口

診断・改修は平成28年度に実施を予定しているのか。

財務課長

国の耐震改修支援の状況を見ながら時期を協議したい。

○ふるさと健康むら等を利用者にやさしい公共施設へ

山口

ふるさと健康むらは多くの町民等が利用し、ありがたい施設と喜ばれているが、木陰が無い、階段の手すりが無い、洋式トイレが無いなど、高齢者・障がい者に対するやさしさに欠けている。

また、公民館等のトイレが男女別になっていない、洋式トイレが無いなどの問題がある。

町長

指摘の点について利用者に喜んでもらえる、やさしい公共施設の観点から再点検し、必要性を検討していく。

教育長

公民館等公共施設のトイレについては再点検し、順次改修していきたい。

野球場、陸上競技場については平成28年度に男女共用トイレの解消を計画している。



○施設の定期的な点検を

山口

定期的な点検で利用者にやさしい施設とするよう配慮されたい。

移住定住

問 将来のビジョン、都市部へのPRはどう考えているか。

答 雇用機会の創出、婚活、移住に向けた相談支援等に取り組む。宿泊客に情報提供していく。

藤井

移住者数確保のためすまいる応援事業、家の購入代金等として補助金などがあるが、決定打に欠けている。移住者数の推移とその傾向、移住定住における将来的ビジョン、お試し住宅の取り組み、都市部へ向けたPRはどう考えているか。地域の受け入れ体制の整備とあわせて取り組んでみてはどうか。

○移住者数の推移とその傾向

町長

本町での移住者数の推移は平成23年度が6人、24年度が5人、25年度が58人、26年度が21人となっている。その傾向としては年代により移住理由が異なり、50代から70代になると介護や田舎暮らしを求めてとの理由が多く、特に本町では温泉での療養が大きな移住理由となっている。

○移住定住における将来ビジョンは

町長

すまいる応援事業や移住定住促進事業に取り組んでいる。雇用機会の創出や婚活、移住に向けた相談支援などに取り組み効果を上げていく。

○お試し住宅の提供や都市部へ向けたPRは

町長

暮らしを体験していただく環境を提供するというこ

つについては、効果が期待できるものと思う。宿泊客に本町の良さを情報提供していく取り組みを進め、移住定住人口の増加につなげていきたいと考えている。

藤井

三朝町のメリット部分をもっとPRしてはどうか。

町長

平均すると毎日1,000人の観光宿泊客に町の良さを情報提供するというをしているしなかった。療養とあわせての温泉利用ということでの問い合わせが多くなってきている。対応できる体制を整えていかなければならないと考えている。

藤井

三朝町においても空き家が相当数あると思われるが、お試し住宅を提供するというようなことは考えられないか。



藤井克孝議員

町長

御位牌があるということで空き家バンクに登録がなされない。空き家バンクに登録があれば若干の経費をかけ手直しし取り組んでいくことも考えている。情報提供等含めてお願いしたい。

藤井

移住者数の確保に努め、各市町村に負けない、我が三朝町がいつまでも活力ある町となるようにしていただきたい。



病院

問 三朝町で温泉療法の継続が出来ないのか

答 地域の特徴ある療法を継続出来るよう要請して行く

○三朝医療センター閉院で温泉療法の継続の検討を

中信

三朝医療センター閉院で温泉療法が出来なくなれば、今後病状の治癒や現状維持が難しくなると思う。患者の皆様は沈痛な思いを聞き、命を救っていることを知った。

ラジウム温泉ならではの温泉療法が出来なくなることで、患者の皆様は大きな不安を抱えておられる現状を町長としてどう捉えておられるのか。

○閉院は非常に残念

町長

関係機関とも連携して存続の努力をしたが閉院となり非常に残念に思う。三朝医療センターがなくなる事への不安が新聞記事に投稿され、中部医師会の松田先生が継続治療に向け準備をされていると新聞に発表されたので安心されることを願っている。

○検討は

中信

三朝温泉病院で温泉療法の継続の検討の考えを伺う。

○人件費補助の用意

町長

来年1月以降三朝温泉病院内で寄附講座が開設され、医師の確保がされ三朝医療センターで担っていた医療が継続の見通しとなる。

鉾泥湿布の治療は三朝医療センターで使っている器具を温泉病院に移設し療養出来る様になる。人件費を補助して行く思いがある。

○プール、熱気浴は

中信

医療と温泉療法の連携の仕方は鳥取県三朝町しかなく、鉾泥湿布、プール、温泉入浴が自然治癒力や免疫力を高め、療養にとっても効果がある。特に医療に適した環境のプール、熱気浴の継続の後押しをして頂きたいと思うが検討できるかどうか。又今熱気浴は週4回ですが増やすよう検討を。

○努力する

町長

プールの活用、熱気浴の施設の件は期待に添うよう努力する。

○湯治客の移住定住への一層の充実した支援が必要と考えるが

中信

温泉療養の方への対応が倉吉市より悪く、倉吉に移住されたと聞く。積極的に移住を進め



中信貴美代議員

ている三朝町にとって残念に思う。どう指導されているか伺う。

○情報提供

町長

ご希望の条件に近い情報を提供するように努力する。三朝温泉ならではの温泉の良さを知って頂いて起業や移住定住を考えて頂く事が出来るようさらなる情報提供に努めていく。

○ホルミシス効果に期待

中信

三朝町の温泉療法は患者の皆様だけではなく、町民の皆様はラジウム温泉（ホルミシス）効果で元気で安心安全な暮らしが出来る三朝町になることを願う。



三朝温泉病院

三朝医療センター

【議案に対する賛否】

議案番号	議員名（議席順）	石田	吉田	池田	能見	中信	山口	清水	藤井	福田	平井	牧田	山田	結果
		恭二	道明	雅俊	貞明	貴美代	博	成眞	克孝	茂樹	満博	武文	道治	
町長提出議案名														
(9月定例議会)														
57	平成27年度三朝町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
58	平成27年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
59	平成27年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
60	平成26年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	認定
61~71	平成26年度特別会計歳入歳出決算の認定について（11件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	認定
72	三朝町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
73	三朝町個人情報保護条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
74	三朝町手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
75	三朝町税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
76	三朝町特別医療費助成条例及び三朝町心身障がい者医療費助成条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
77	三朝町過疎地域自立促進計画の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
78	財産の取得について（除雪ドーザー）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
79	財産の取得について（小型動力消防ポンプ積載車）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
80	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	同意
議員提出議案名														
議7	三朝町議会会議規則の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
議8	三朝町議会傍聴規則の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。 ※山田道治議長を除く11名の賛否状況です。

【陳情】 9月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
少人数学級の推進と義務教育費国庫負担制度2分の1還元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択を求める陳情	鳥取県教職員組合 中部支部	採 択 意見書 提 出	子どもの学ぶ意欲・主体的な取り組みを引き出す教育の役割は重要であり、そのための条件整備が不可欠である。
外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情	福岡県行橋市 小坪 慎也	不採択	国が平成28年から関係書類の提出又は提示を厳格化すること、また、実際に扶養親族が存在することもある。
人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定に関する陳情	在日本大韓国民団 鳥取県地方本部	採 択 意見書 提 出	一人ひとりの人権が尊重される社会を実現するための適切な措置を講ずることが求められる。

グループ紹介

オカリナ演奏グループ

ラジウムdeべっぴんず&イケメンズ

代表 松原 邦子 さん



オカリナはイタリア生まれの楽器

オカリナはイタリアで生まれた陶製の楽器です。素朴な音色が特徴で、日本では宗次郎や喜多郎が作曲家・演奏家として有名です。

喜多郎の「シルクロード」、宗次郎の「大黄河」などの作品が、素晴らしい音色とともにオカリナの名曲として有名です。

グループ結成と構成メンバー

私たちのクラブは平成24年1月に結成し、メンバーは、現在女性8名、男性2名の計10名、73歳を最高に60歳代、50歳代、40歳代の三朝町民で構成されています。

練習と演奏活動

グループ結成以来、月2回の指導者による定期練習と随時の自主練習を重ね、その成果を町内外の老健施設等での慰問演奏、町文化祭への参加、全国のオカリナ愛好者が集う、兵庫県で開催のオカリナフェスティバルへの参加など精力的に活動を行っています。

慰問演奏依頼をお待ちしていますので、是非声をかけてください。(無料)

これまでの演奏実績

- 慰問演奏 三朝町内 三喜苑・グループホーム仁の里 (毎年)
倉吉市内 ほほえみ・あずま園 (毎年)
- 発表会等 三朝町芸能文化祭出場 (毎年・今年も出場します)
森の国オカリナフェスティバル出場 (兵庫県宍粟市・毎年)
- 協賛演奏 開湯850年協賛和紙あかりミニコンサート演奏 (今年2回)、キュリー祭、三朝地区敬老会、三徳まつり

大切にしている主な曲目

ふるさと・月の砂漠・筑波山麓合唱団・銀座カンカン娘など

会員募集

オカリナに興味のある仲間を求めています。初心者歓迎です。お待ちしております。

●題字提供者紹介

本泉 野見里江 さん

町書道教室1の世話人を務められ、月二回の教室で腕を磨いておられます。

倉吉市展への作品出品などご活躍です。お好きな書体は「かな」だそうです。

みさき
議会だより



●表紙写真提供者紹介

横手 鳥羽欣恒 さん

倉吉市展は無鑑査の腕前で、鳥取県展に毎年入選するなどご活躍です。

自然の現象や風景、植物などの写真を得意としておられます。



- 発行責任者 山田 道治
- 編集 山田 道治
- 議会広報常任委員会
- 委員長 山口 博
- 副委員長 池田 雅俊
- 委員 福田 茂樹
- 委員 清水 成真
- 委員 能見 貞明

敬老の日を特集して、某週刊誌に掲載されていたシルバー川柳を紹介しました。老いるとは増える薬と減る記憶
マイナンバー ナンマイ
ダーと聞き違え
お互いにポケカトポケカ
気がつかず
目覚ましのベルはまだか
と起きて待つ
○「先寝るぞ」「安らかにね」と返す妻
○暑いのでリモコン入れるとテレビつく
○改札を通れずよく見りや診察券
思わず「ぷっ」と吹き出しそうになるものばかり。しかし高齢化社会に突入した我が国では「明日は我が身」の現実問題。
「100歳元氣な町づくり」を推進する三朝町では、この川柳を笑い話のネタにしてしまえるような高齢化対策を推進していきたいものです。
(能見貞明 記)

おむこい
ちよひつひん